

家庭からの水きれいに

新川汚染防止推進大会

新川汚染防止推進大会が12月4日、東総文化会館小ホールで行われました。大会では、新川浄化運動の啓発作文・ポスター・標語など871点から選ばれた72人の優秀な作品が表彰された後、富浦小の加瀬真吾くん（5年）が最優秀賞となった作文「ふるりの川 新川」を朗読。会場から大きな拍手が送られました。また、千葉大学教授の瀧和夫さんによる講演会も行われ「自然の循環を考えながら新川を保全していくこと、家庭の中から少しずつ取り組むことが大切」と訴えました。



▲作文を朗読する加瀬真吾くん（富浦小・5年）

生き物調査で学ぶ環境と農業

サンライズプラン冬の交流会

環境にやさしい循環型の農業を推進しようと、消費者団体や農業関係団体、行政などが組織するサンライズプラン推進協議会が12月9日、干潟公民館で冬の交流会を開催しました。交流会では今年度市内の農地で生き物調査を行った滝郷小、干潟小の4年生57人が、春、夏、秋それぞれの季節に行った調査結果を発表。気温の変化によって動植物の生活も変わっていくことなどを、壁新聞や劇で楽しく丁寧に説明していました。



▲年離れたカエルとオタマジャクシを熱演する子どもたち（滝郷小）

親睦を深めたスカウトたち

第5回スカウトの集い

日ごろ、市内でおの活動するボーイスカウト旭第1団、第2団、ガールスカウト千葉県第69団、第101団の子どもたちが一堂に会し、総合体育館サブアリーナで12月6日、スカウトの集いが開催されました。スカウトたちはみんなで歌やゲームなど行い、親睦を深めました。

大きな声援を受け快走

第5回市民駅伝大会



▲仲間からのタスキを受け、勢いよく走り出す選手

さわやかな冬晴れに恵まれた12月20日、市民駅伝大会が東総運動場をスタート・ゴールに行われました。今年は99チーム907人が参加。インフルエンザなどの影響で4チームが当日棄権となってしまいましたが、参加した選手たちは元気にタスキをつなぎ、スタンドや沿道からも「がんばれ、ファイター」など、大きな声援が送られていました。各部門の優勝チームは次のとおりです。
小学生の部（6区9.5km）／網戸スターズA（35分48秒）
中学生の部（7区17.4km）男子／旭一中A（59分3秒）女子／旭二中（1時間8分49秒）
一般の部（7区17.4km）男子／TEAM旭2ユナイテッド駅伝小僧（58分58秒）女子／タートルズ「女組」（1時間22分41秒）

小学生がお年寄りのお宅を訪問

富浦小の5年生33人がグループに分かれ、12月10日に地区内のお年寄り宅6件を訪問し、草取りなどのお手伝いをしたりお手玉などで遊んだりしました。ふれあいボランティアと呼ばれるこの活動は、お年寄りと交流することで、子どもたちに思いやりの心やボランティア活動に進んで参加し



▲マッサージを受けながら談笑しようとする気持ちを育てようといわれたもので、今年で9年目。訪問を受けたお年寄りは、「楽しい時間を過ごすことができた」と笑顔を見せていました。



▲歌やゲームなど楽しい時間を過ごしたスカウトたち

年 末年始フォトスケッチ



- ①=初日の出 (1/1 屏風ヶ浦)
- ②=もちつき (1/1 食彩の宿
いいおか)
- ③=除夜の鐘 (12/31 海宝寺)
- ④=日の出会によるお囃子 (1/
1 玉崎神社)
- ⑤=初詣で (1/1 鎌数伊勢大
神宮)
- ⑥=歳末警戒 (12/30 海上方面
隊)
- ⑦=火伏の儀式 (1/1 熊野神
社)